

気軽に参加でき、楽しく学べる「科学学校」

KIT サイエンス・ミュージアム教育研究プロジェクト



● プロジェクト代表者

伊藤 隆夫 (基礎教育部基礎実技教育課程 教授)

● プロジェクトメンバー

三嶋 昭臣 (基礎教育部数理基礎教育課程 教授)

田森 佳秀 (バイオ・化学部応用バイオ学科 准教授)

ワクワクしながら実験やモノづくり

本プロジェクトは、野々市市、金沢市、白山市の小・中・高校や一般市民に開かれたサイエンス・スクールです。イベントとして実施する「科学実験教室」と常設型の「モノづくりカフェ」の二つを柱に、参加者が実験やモノづくりを通して、「身近で面白い」と科学に興味を持つ機会を提供します。広く地域社会から参加を募り、出張講義にも対応する予定です。

プロジェクトの内容は、学生が企画し、講師も務めます。例えば「科学実験教室」では、バイオ・化学部の学生が、パソコンを使って発表するためのデータや資料を事前に用意した上で、イベント会場で実験や現象を示した後、背景にある原理や法則を解説します。対象は中・高校生です。

このほか、科学教室を地域の自治体や教育委員会、企業などと共同開催したり、開催場所を提供したりすることも検討しています。

また、「モノづくりカフェ」は、モノづくり体験教室や科学実験の実演、科学展示などを行うもので、地域のカフェと提携して、ワクワクしながら新しいモノづくりやアートを楽しむ常設型の空間を目指します。カフェでは、小学生から大人まで、地域のあらゆる分野の方々と、つながりを深めることを期待しています。また、小学校等での理科実験の実演も引き受けます。

博物館のような科学展示にも取り組む

さらに、本プロジェクトでは科学博物館にあるような科学展示にも取り組み、本学内で公開する計画も立てています。多くの科学博物館がある大都市に比べ、野々市市や金沢市、白山市地域では、地域住民が科学に触れる機会は、決して多くありません。学生が企画・作成した科学展示を大勢の方々に見に来ていただくことで、科学現象に親しむ機会を増やし、子供の科学・理科離れを防ぐことにもつなげます。

これは本学が長期ビジョンとして掲げる、野々市市、金沢市、白山市に基盤を置く科学博物館(KIT サイエンス・ミュージアム)の実現へ向けた第一歩となるものです。

